

発行日：2018年4月26日

試験 No.T1803157

株式会社オプス 御中

試 験 報 告 書



ITEA 株式会社 東京環境アレルギー研究所

〒113-0034 東京都文京区湯島 1-2-5 聖堂前ビル

電話 03-3526-2031 Fax 03-3526-2032

試験 1

1-1. 試験名	コーティング剤のダニアレルゲン不活化効果検討
1-2. 検体	
検体	アドバンスコート KF-70W*1 *1 コーティング剤を含浸後、乾燥させた不織布（株式会社オプス提供） を検体として使用した。
対照	ブランク
1-3. 試験概要	検体と対照にアレルゲン溶液を所定量添加し、4℃で 16 時間反応させた。反応後アレルゲン溶液を回収し、そのアレルゲン濃度を ELISA にて測定した。
1-4. 試験条件	
対象アレルゲン	コナヒョウヒダニ排泄物由来アレルゲン Der f 1
対象アレルゲン形態	ダニ (Df) 抽出物（特注品、ITEA 製）
アレルゲン初期量	100 ng
反応温度	4 °C
反応時間	16 h
サンプル数	n=3
アレルゲンの測定	サンドウィッチ ELISA*2 *2 反応後のアレルゲン溶液を ELISA 測定用希釈液で適切な倍率*3 に希釈したものを測定サンプルとした。 *3 検体由来成分が ELISA 測定系に干渉しない希釈倍率。 (添加回収試験により決定)

評価方法

反応後の検体と対照のアレルゲン量を比較することにより、検体によるアレルゲン低減率を算出した。

$$\text{アレルゲン低減率 (\%)} = (Y - X) / Y \times 100$$

X : 検体と反応後のアレルゲン量平均値 (ng)

Y : 対照と反応後のアレルゲン量平均値 (ng)

1-5. 結果

表 1-5-1. 反応後のアレルゲン (Der f1) 量及びアレルゲン低減率

初期量実測値 : 89.30 ng

試験区分	n	Der f1 量 (ng)	平均値 (ng)	標準偏差	アレルゲン低減率 (%)
アドバンスコート KF-70W	1	1.76	1.76	-	98.1 以上
	2	1.76			
	3	1.76			
ブランク (対照)	1	91.81	91.95	2.3	
	2	89.68			
	3	94.37			

※ イタリック表記の数値は検出限界未満だったもの。

検出限界 1.76 ng

※ アレルゲン量が検出限界未満であった場合は、検出限界値とみなして平均値、標準偏差、アレルゲン低減率を算出。

1-6. 付記

本試験結果を異なる実験系ないし実験条件による試験結果と比較することはできません。

試験開始日 : 2018 年 4 月 7 日

試験終了日 : 2018 年 4 月 13 日

試験 2

2-1. 試験名	コーティング剤のスギ花粉アレルギー不活化効果検討
2-2. 検体	
検体	アドバンスコート KF-70W* ¹ * ¹ コーティング剤を含侵後、乾燥させた不織布（株式会社オプス提供）を検体として使用した。
対照	ブランク
2-3. 試験概要	検体と対照にアレルギー溶液を所定量添加し、4℃で 16 時間反応させた。反応後アレルギー溶液を回収し、そのアレルギー濃度を ELISA にて測定した。
2-4. 試験条件	
対象アレルギー	スギ花粉アレルギー Cry j 1
対象アレルギー形態	スギ花粉抽出物（製品 No. 10103、ITEA 製）
アレルギー初期量	100 ng
反応温度	4 °C
反応時間	16 h
サンプル数	n=3
アレルギーの測定	サンドウィッチ ELISA* ¹ * ¹ 反応後のアレルギー溶液を ELISA 測定用希釈液で適切な倍率* ² に希釈したものを測定サンプルとした。 * ² 検体由来成分が ELISA 測定系に干渉しない希釈倍率。 (添加回収試験により決定)

評価方法 反応後の検体と対照のアレルゲン量を比較することにより、検体によるアレルゲン低減率を算出した。

$$\text{アレルゲン低減率 (\%)} = (Y - X) / Y \times 100$$

X : 検体と反応後のアレルゲン量平均値 (ng)

Y : 対照と反応後のアレルゲン量平均値 (ng)

2-5. 結果

表 2-5-1. 反応後のアレルゲン (Cry j 1) 量及びアレルゲン低減率

初期量実測値 : 100.58 ng

試験区分	n	Cry j 1 量 (ng)	平均値 (ng)	標準偏差	アレルゲン低減率 (%)
アドバンスコート KF-70W	1	0.39	0.39	-	99.6 以上
	2	0.39			
	3	0.39			
ブランク (対照)	1	99.57	100.18	0.6	
	2	100.23			
	3	100.75			

※ イタリック表記の数値は検出限界未満だったもの。

検出限界 0.39 ng

※ アレルゲン量が検出限界未満であった場合は、検出限界値とみなして平均値、標準偏差、アレルゲン低減率を算出。

2-6. 付記 本試験結果を異なる実験系ないし実験条件による試験結果と比較することはできません。

試験開始日 : 2018 年 4 月 7 日

試験終了日 : 2018 年 4 月 13 日

ITEA 株式会社

東京環境アレルギー研究所

東京都文京区湯島 1-2-5 聖堂前ビル

電話 03-3526-2031 Fax 03-3526-2032

試験責任者 : 藤井 祐加

